取扱説明書

audio-technica®

コードレスヘッドホン
ATH-CL350

お買い上げありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。また保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

安全上のご注意

本製品を安全にご使用いただくための注意事項です。使いかたを誤ると事故が起こることがあります。ご使用前に必ずお読みください。

⚠危険	⚠警告	⚠注意
この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが切迫して生じる可能性があります」を意味しています。	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

トランスミッターについて

⚠警告

- **付属のACアダプター以外使わない**
  故障、不具合の原因になります。
- **異常に気付いたら使用しない**
  異常な音、煙、臭いや発熱、損傷があったら、すぐにコンセントから抜き、お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに修理を依頼してください。
- **分解や改造はしない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **強い衝撃を与えない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **濡れた手で触れない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **水をかけない**
  感電やけがの原因になります。
- **本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **布などでおおわない**
  過熱による火災やけがの原因になります。
- **同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない**
  事故や火災の原因になります。

ヘッドホンレシーバーについて

⚠警告

- **耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聴くと聴力に悪影響を与えることがあります**
- **肌に異常を感じた場合は、すぐにご使用を中止してください**
- **分解や改造はしないでください**
- **ウイングサポート各部を取り外した状態でヘッドホンをご使用にならないでください。けがの原因になります**

充電式電池について

⚠危険

- **付属の充電器以外で充電しない**
  故障や火災の原因になります。
- **分解や改造、ハンダ付けはしない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **極性通りに入れる**
  極性を間違えると、故障の原因になります。
- **火の中に投入しない**
  破裂や事故の原因になります。
- **液漏れした電池はすぐに取り出す、液は素手でさわらない**
  発熱や、液漏れによる故障の原因になります。
  ・幼児がなめた場合はすぐに水道水等のきれいな水で十分にうがいをし、すぐに医師の診断を受けてください。
  ・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合はすぐに医師の診断を受けてください。
  ・目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水等のきれいな水で十分に洗い、すぐに医師の診断を受けてください。

⚠警告

- **幼児の手の届く所に置かない**
  電池を飲み込んだ場合はすぐに医師の診察を受けてください。窒息や胃などへの障害の恐れがあります。
- **外装チューブがはがれた電池は使用しない**
  故障や火災の原因になります。

⚠注意

- **指定の電池以外使用しない**
  故障の原因となります。
- **充電済みの電池と一度使用した電池、違う種類の電池を混ぜて使用しない**
  液漏れなどによる故障の原因となります。

Ni-MH

■お願い
ニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は+（プラス）端子にテープなどを貼り付けて絶縁してから充電式電池のリサイクル協力店にお持ちください。
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページ http://www.baj.or.jpをご覧ください。

ACアダプターについて

⚠警告

- **AC100V以外の電源には使わない（日本国内専用）**
  過熱による火災やけがの原因になります。
- **異常に気付いたら使用しない**
  異常な音、煙、臭いや発熱、損傷があったら、すぐにコンセントから抜き、お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに修理を依頼してください。
- **コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない**
  過熱による火災やけがの原因になります。
- **コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む**
  過熱による火災やけがの原因になります。
- **コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない**
  断線、故障の原因になります。
- **分解や改造はしない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **強い衝撃を与えない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **濡れた手で触れない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **布などでおおわない**
  過熱による火災やけがの原因になります。
- **プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る**
  過熱による火災やけがの原因になります。
- **コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする**
  断線、故障の原因になります。

⚠注意

- **長時間使用しないときは、コンセントから抜く**
  省エネルギーにご配慮ください。
- **足に引っかかりやすい場所にコードを引き回さない**
  故障や事故の原因になります。
- **通電中のACアダプターに長時間触れない**
  低温やけどの原因になることがあります。
- **直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない**
  故障や不具合の原因になります。

使用上のご注意

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 接続する際は、必ず音量を最小にしてください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。また水がかからないようにしてください。
- 本製品は長期間使用すると、紫外線（特に直射日光）や摩擦により、変色することがあります。
- 本製品に無理な力を加えた状態で放置しないでください。変形する恐れがあります。
- プラグの抜き差しは、本製品の電源を切ってから行なってください。

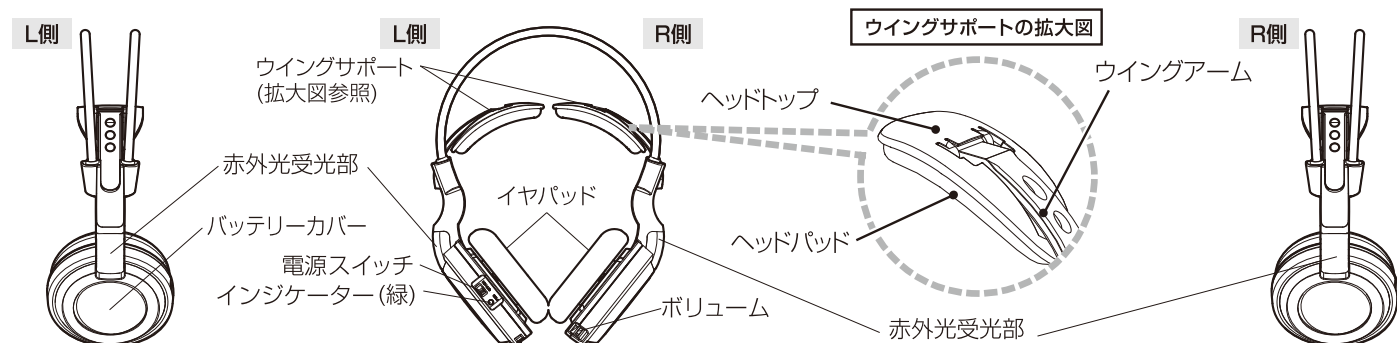
ATH-CL350 システム内容

本製品をご使用になる前に、下記の内容物が全てそろっているかご確認ください。

●市販の単4形充電式ニッケル水素充電池の充電は、その充電池の説明書、注意書きに従って充電してください。
誤充電防止のため、本製品では付属充電池以外の充電はできません。
●イヤパッドや、付属充電池は消耗品のため保証の対象外になります。交換可能ですので、販売店でご注文いただくか、当社サービスセンターにお問い合わせください。

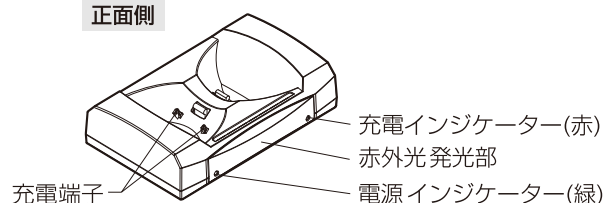
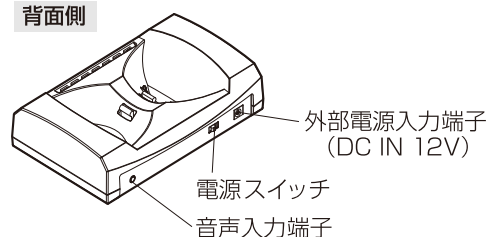
各部の名称

下図を参考にヘッドホンの各部をご確認ください。

ヘッドホンレシーバー　ATH-CL350R

■**イヤパッド、ヘッドパッド(ウイングサポート)のお取り扱いについて**

・ご使用にならない場合は、高温多湿を避け風通しの良い場所に保管してください。
・イヤパッドやヘッドパッド(ウイングサポート)は使用や保存で劣化します。 快適にご使用していただくため1年程度を目安に定期的な交換を行なってください。
　また、破れるなど劣化した場合は早めに交換してください。

本製品の基本性能を維持するために必要な部品(補修用性能部品)の最低保有期間は生産終了後6年です。

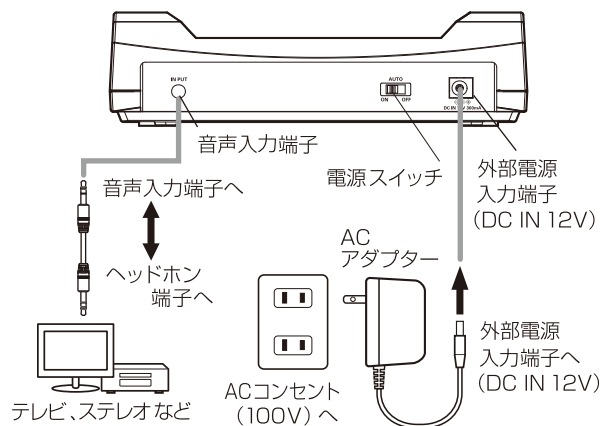
トランスミッター　AT750TX

準備

●必ずトランスミッター、ヘッドホンレシーバーの電源と、接続する機器の電源を切ってから作業を行なってください。
●接続する機器の取扱説明書もあわせてお読みください。

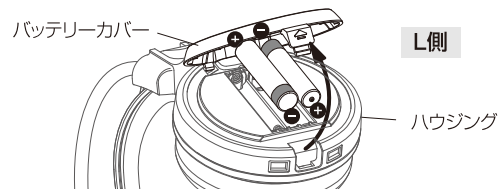
1.トランスミッターの接続

①接続する機器のφ3.5mmステレオジャックのヘッドホン端子とトランスミッターの音声入力端子を付属の接続コードでつないでください。※1,2

②付属ACアダプターのDC出力プラグをトランスミッターの外部電源入力端子に差し込み、ACアダプターをACコンセント(100V)に差し込みます。

※1　機器のヘッドホン端子がφ6.3mm標準端子の場合はプラグアダプター【φ3.5mmステレオジャック⇒φ6.3ステレオプラグ (別売)】をお求めください。
※2　**本製品はヘッドホン端子専用です。**ライン出力端子には接続しないでください。音が歪んだり、十分な音量が得られないことがあります。

2.ヘッドホンレシーバーに電池を入れる

①右図のようにヘッドホンレシーバーL側ハウジング部のバッテリーカバーを開けてください。

②本体の極性表示に合わせて、付属の充電池を2本とも入れてください。

準備　つづき

3.電池を充電する

本製品をお買い上げ時は、付属の充電池は充電されておりません。初めてご使用になるときは充電池を充電する必要があります。※1

①トランスミッターの2つのフックとヘッドホンレシーバーのL/Rの溝を合わせて、しっかりと押し込んでください。

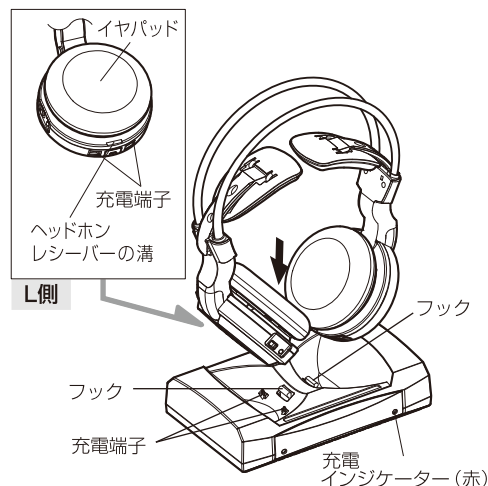
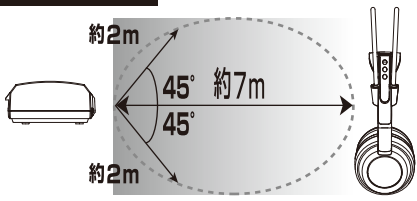
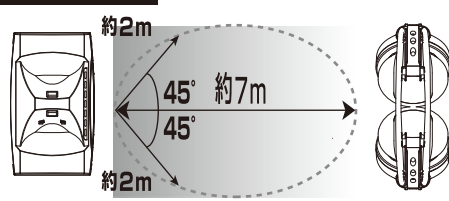
②トランスミッターの電源スイッチを「ON」か「AUTO」にしてください。※2
充電が始まるとトランスミッターの充電インジケーター（赤）が点灯します。

③充電時間は約15時間です。※3
充電開始から約15時間で充電インジケーターが消灯し、充電完了となります。※4

※1　本製品では付属の充電池のみ充電できます。ショートする可能性がありますので、市販の乾電池や充電池を使用する場合、ヘッドホンレシーバーに入れたままトランスミッターに置いて充電しないでください。
市販の乾電池や充電池を使用し、トランスミッターに置く場合は、トランスミッターの電源スイッチを「OFF」にしてください。

※2　トランスミッターの電源スイッチが「ON」と「AUTO」のいずれかを選択している場合のみ充電ができます。「OFF」の場合には充電ができません。

※3　空の充電池を充電完了にするための目安の時間です。前回充電した分の電池容量が残っている場合には、短い時間で充電完了になります。
なお、短い時間で充電完了になっても充電インジケーター（赤）は消灯せず、約15時間通電状態を維持しますが、過充電になる事はありません。
充電インジケーターは電池の充電状態に関わらず開始から約15時間で消灯し、充電を終了します。

※4　充電が十分でないと音が歪む場合がありますが故障ではありません。充電を完了させてからご使用ください。

赤外光受光範囲 （範囲内でご使用ください）

設置上のご注意

- **本製品はプラズマディスプレイではご使用できません。**
  音が途切れたり、雑音が出る場合があります。
- ヘッドホンレシーバーとトランスミッターの間に障害物があると、音声が途切れたりノイズが出る場合があります。
  その場合は障害物を取り除くか、トランスミッターを視聴位置の目線の高さに設置し、障害物を避けてください。
- リスニングエリア内でも、直射日光が当たる場所、照明器具やコードレスマウスなどの近くでは赤外光伝送妨害を受け、音声が途切れたりノイズが出る場合があります。
  その場合は、それらを避けた場所に設置してください。

使いかた

●ご使用の前にヘッドホンレシーバーに充電済の電池を入れ、トランスミッターの接続を確認してください。
●電源を入れる前にヘッドホンレシーバーおよび接続している機器の音量を下げてください。
●接続している機器の取扱説明書もあわせてお読みください。

1.接続した機器の電源を入れる

接続している機器の電源を入れて音量を調整してください。

※テレビなどAV機器のヘッドホン端子にトランスミッターを接続し、電源スイッチを「AUTO」の状態にしている場合は、接続している機器の音量を歪まない範囲でできる限り大きくしてください。
接続している機器の音量が小さいとオートパワーOFF機能が働き自動的にトランスミッターの電源が切れてしまいます。

2.トランスミッター電源スイッチの切り換えを設定する

電源スイッチは「ON」「AUTO」「OFF」の3段階の切り換えになっています。
出荷時の電源スイッチは「OFF」の状態になっていますので、使用状況によって切り換えてください。

「ON」　…電源ONモード
常にトランスミッターの電源が入った状態になります。

「AUTO」…オートパワーON/OFFモード
接続した機器の音声信号が入ると自動的にトランスミッターの電源が入る状態になります。
また、約2分間音声信号がない状態になると自動的にトランスミッターの電源が切れます。

「OFF」　…電源OFFモード
常にトランスミッターの電源が切れた状態になります。

トランスミッターの電源が入ると、電源インジケーター（緑）が点灯します。

3.ヘッドホンレシーバーの電源を入れる

ヘッドホンレシーバーの電源スイッチを「ON」にし、インジケータ(緑)が点灯するのを確かめて、ヘッドホンレシーバーのボリュームを少し上げます。

ヘッドホンレシーバー電源スイッチ
OFF
ON
L側
緑に点灯

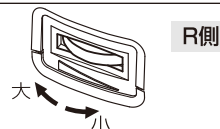
4.ヘッドホンレシーバーのボリュームで音量を調整する

ヘッドホンレシーバーのボリュームを徐々に上げて音量を調整します。

※難聴の原因となりますので、大音量でのご使用は控え、適度な音量でご使用ください。

ヘッドホンレシーバーボリューム
R側
大
小

ご使用後

ご使用後はヘッドホンレシーバーとトランスミッターの電源スイッチを「OFF」にします。電源の切り忘れにご注意ください。
なお、長時間使用しない場合はトランスミッターの電源スイッチが「OFF」になっていることを確認した後、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。また、ヘッドホンレシーバーの電池も抜いてください。

お手入れのしかた

長く使用していただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

本体について …… 乾いた布で本体を拭いてください。

イヤパッド、ヘッドパッドについて …… 汚れは乾いた布で拭いてください。汗または水が付着すると色落ちする場合があります。その際は乾いた布で拭き取り、陰干しすることをおすすめします。

故障かな?と思ったら

音が出ない

トランスミッターとAV機器が正しく接続されていますか?

→トランスミッターとAV機器の接続を確認してください。(P.2 準備)

接続した機器の電源がオンになっていますか?

→接続した機器の電源を入れてください。(P.3 使いかた)

ヘッドホンレシーバーの電源がオンになっていますか?

→ヘッドホンレシーバーの電源を入れてください。(P.3 使いかた)

モノラルの機器に接続していませんか?

→トランスミッターをラジオなどのモノラル仕様の機器に接続する場合、右チャンネルの音が出ませんので、その場合はプラグアダプター【φ3.5mmステレオジャック⇒φ3.5mmモノラルプラグ(別売)】をご使用ください。

ヘッドホンレシーバーに単4形電池を極性通りに入れましたか?

→極性を確認してください。(P.2 準備)

ヘッドホンレシーバーの電池が消耗していませんか?

→電池を充電してください。または市販の乾電池に入れ換えてください。(P.3 準備)

接続した機器が再生モードになっていますか?

→モードを確認してください。

接続した機器のボリュームが小さくなっていませんか?

→ボリュームを調整してください。(P.3 使いかた)

音が歪んだり、雑音がでる

プラズマディスプレイを使用していませんか?

→本製品はプラズマディスプレイではご使用できません。(P.3 赤外光受光範囲 設置上のご注意)

白熱灯や蛍光灯、コードレスマウスなどがヘッドホンレシーバーのすぐ近くにありませんか?

→雑音がなくなる位置まで離れてお聴きください。(P.3 赤外光受光範囲 設置上のご注意)

接続した機器のボリュームを上げすぎていませんか?

→接続した機器のボリュームを下げてください。(P.3 使いかた)

ヘッドホンレシーバーのボリュームを上げすぎていませんか?

→接続した機器のボリュームを上げ、適音量までヘッドホンレシーバーのボリュームを下げてご使用ください。
両方を調整して歪まないところでお聴きください。(P.3 使いかた)

トランスミッターを複数使用していませんか?

→トランスミッターは同時に2台以上使用しないでください。

再生中に音が切れたり、音が出たり出なかったりする

正しく設置されていますか?

→**ヘッドホンレシーバーの赤外光受光部を髪の毛でおおわないでください。**
→トランスミッターとヘッドホンレシーバーの間に障害物がある場合は障害物を取り除いてください。
→トランスミッターとヘッドホンレシーバーの間は7m以内でご使用ください。
→トランスミッターとヘッドホンレシーバーの位置や角度を調整し直してください。
→トランスミッター赤外光発光部とヘッドホンレシーバーの赤外光受光部をおおわないようにご使用ください。(P.3 赤外光受光範囲)

直射日光の当たる場所で使用していませんか?

→カーテンなどを閉めて直射日光が当たらないようにするか、直射日光の当たらない場所でご使用ください。(P.3 赤外光受光範囲)

接続した機器のボリュームを下げすぎていませんか?

→トランスミッターの電源切換スイッチが「AUTO」の場合、接続した機器のボリュームが小さすぎると、オートパワーOFF機能が働き、自動的にトランスミッターの電源が切れてしまいます。
その場合は、接続した機器のボリュームを大きくするか、トランスミッターの電源切換スイッチを「ON」にしてください。(P.3 使いかた)

ヘッドホンレシーバーの電池が消耗していませんか?

→電池を充電してください。
充電しても使用時間が短い場合は、2本とも新しい専用単4形ニッケル水素電池(RB4H)をお取り寄せください。(P.2,3 準備)

テクニカルデータ

●送受信システム

方式	赤外光FM変調 / ステレオ / 2周波タイプ
搬送波周波数	左チャンネル:2.3MHz　右チャンネル:2.8MHz
周波数特性	20Hz～22kHz
赤外光波長	約850nm～900nm
到達距離	正面約7m

●ヘッドホンレシーバー部

型式	オープンエアーダイナミック型ヘッドホン
ドライバーユニット	φ40mm
受光センサー	L,R各2個、計4個
電源	DC2.4V (単4形ニッケル水素充電池×2) または3V (単4形乾電池×2)
連続動作時間	約30時間 (1mW+1mW出力・付属の単4形ニッケル水素充電池RB4H 2本使用時)
質量	約210g (電池除く)
外形寸法	H227×W167×D85mm

●トランスミッター部

電源	DC12V(付属ACアダプター 日本国内専用)
入力	φ3.5mmステレオジャック
外形寸法	H45×W164×D110mm
質量	約175g

●付属品

接続コード　φ3.5mmステレオプラグ ⇔ φ3.5mmステレオプラグ　1.0m
ACアダプター(AD1203JLF)
単4形ニッケル水素充電池(RB4H)　×2

●別売品

増設用ヘッドホンレシーバー　ATH-CL350R
イヤパッド(左右1組)　HP-CL55
ヘッドトップ(ヘッドパッド付 左右1組)
充電池(2本1組)　RB4H
ACアダプター　AD1203JLF
接続コード(1.0m)

(改良などのため予告なく変更することがあります。)

アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明や注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。
お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

商品のお問い合わせや故障・修理・パーツ交換のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口までお願いします。
また、当社ホームページでもパーツ交換や修理に関してお知らせしております。
詳しくは下記URLの「**サポート→修理について→修理可能製品(部品注文)一覧→ヘッドホン**」をご覧ください。

●相談窓口(お問い合わせ)
電話受付　平日 9:00～17:30(土日祝、年末年始を除く)
0120-773-417　FAX:042-739-9120
(携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0211)
Eメール:support@audio-technica.co.jp

●サービスセンター(故障・修理・パーツ交換)
電話受付　平日 9:00～17:30(土日祝、年末年始を除く)
0120-887-416　FAX:042-739-9120
(携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0212)
E メール:servicecenter@audio-technica.co.jp

●当社ホームページ
http://at-listening.jp/repair/list_headphone.html

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市成瀬2206　http://www.audio-technica.co.jp

132306270E